



岡山大学法学部だより



※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 105 号(2015 年 3 月 10 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

ひと雨ごとに春がやってくるのを感じます。

目次

- 退官ご挨拶 (谷聖美 教授)
- 法学部からのお知らせ

○ 退官ご挨拶

移り変わる津島キャンパス景観

谷 聖美 (たにさとみ)・法学部教授 (政治学)

私は、この 3 月をもって定年で岡山大学を去ります。この大学に来て 36 年になります。その間、私が見てきた津島キャンパスの景観は、それなりに変化してきました。ここでは、このキャンパスの今の景観がどうしてできあがってきたのか、少しお話してみたいと思います。

昨年 4 月に岡山大学に来た留学生の一人は、津島キャンパスの第一印象を、「なんて美しい、まるで公園のような大学!」と、感嘆符付きで語っていました。私も、今日の津島キャンパスは全国の国立大学でも有数の景観に恵まれていると思います。

4 月になると、東西道路の両側がハナミズキの白とピンクに淡く彩られます。東西道路の北側歩道沿いでは、サツキとツツジが長い花の帯となって行き交う人たちの目を楽しませます。法学部講義棟横の中庭や教養棟と学生会館のあいだにある芝地、そして教育学部の周辺では、満開のサクラが華やぎを添えます。そして、運動公園の方から南北道路を歩いて来ると、薄緑色のいちよう並木の向こうに、時計台をアクセントにしなが、半田山がコブシやヤマツツジ、ヤマザクラなどを織りなして春霞に煙っています。

ご存じの学生さんはあまりいないかも知れませんが、半田山は岡山大学の附属自然教育研究林で、このキャンパスだけでなく、岡山の町全体にとっても貴重な借景、おだやかな里山となっています。秋になると、黄色く染まったいちよう並木とその奥の時計台が、毎年決まってテレビや新聞のニュースを飾ります。

でも、この美しい景観は、独りでできあがったわけではありません。そもそも、昔から変わらないのが当たり前のように思える半田山にしてからが、実は「結果的に変わらないで済んだ」というのが真相なのです。話しは 1980 年代にさかのぼります。当時は国鉄など国営事業の民営化や国有地の売却が政策的に進められていました。そして、国立の岡山大学にも、その敷地の有効活用 (収益化) が指示され、木造官舎が建っていた土地などが民間に売却されました。そうした中で最大のターゲットにされたのが半田山です。「この山を売っばらって代金を国庫に納めろ!」実際に売り払われていたら、山全体が削り取られて住宅地になっていたかもしれません。でも、最初に売りに出された半田山西端から古墳が見つかったために買い手が現れず、そうこうしているうちに政治状況が変わり、結果的にその景観が保たれることになったのです。

私が来た頃、東西道路北側のサツキやツツジはすでにあつたように記憶していますが、ハナミズキはありませんでした。この道路は市道なので、比較的最近になって岡山市が文教地区、すなわち岡大周辺の環境整備の一環として植樹してくれたようです。岡山駅西口から理大まで行くバスは 15 年ほど前に新設されたものですが、そのバスが薬学部の西で右折して津島キャンパスに沿って北上していく道路も、そうした考えにもとづいて、両側に広い緑地帯を伴う形で拡幅されました。

キャンパス内に目を向けると、私が来た頃には教養構内にサクラはほとんどありませんでした。ところが、当時存在していた教養部の教授会で、変わり者の教授 (学者としては立派な人) がある日「大学にふさわしいキャンパスをつくるべきだ」と主張し、侃々諤々の議論の末、みんなの研究費から費用を捻出して、かなり大きく育ったサクラの苗木を 30 本ほど購入したのです。苗木というものは、よく育つたものほど値段が高く、また植え

たあとの世話が大変なのですが、事務の方々が水やりなどに努めてくださった結果、大部分が根付いて今の桜並木をつくったのです。今あるサクラの木で小ぶりのものは、枯れた木を補ったりあとで植え足されたりしたものです。

景観の話しとなると、キャンパスの建物にも触れざるを得ません。25年ほど前にアメリカから講演に訪れた高名な日本政治研究者は、津島キャンパスを一目見るなり、「日本の国立大学というのは、どうしてどこもかしこもこうも殺風景な建物ばかりなのだ！」とうんざり顔で言いました。理学部や法文1号館などコンクリート造りの古い建物が次々とリフォームされたこともあり、建物群の姿は当時と比べると随分きれいになりました。もちろん、伝統ある大学にふさわしい風格が出てきたとはまだとてもいえません。それに、最近はコンセプトがよくわからない奇抜な施設や空間が出現し始めているような気がします。聞くところではいちょう並木の一部や東西道路沿いのサツキ等を撤去して歩道を広げるという計画もあるそうです。それでも、現在のところは、私が来た頃と比べると昔日の観がある、美しいキャンパスとなっています。

大学は教育と研究のための単なる容れ物ではありません。キャンパスの景観は、大学における学術、教育、学生や教職員の活動、そして何よりもその文化のレベルを左右する重要な要素だと思います。津島キャンパスの景観が、そして鹿田キャンパスをはじめ、倉敷、鳥取県三朝町など他のキャンパスの景観がこれからも向上していくことを願う次第です。

---

○ 法学部からのお知らせ

---

☆今年度卒業予定のみなさんへ

(卒業記念パーティー実行委員会からのお知らせ)

岡山大学法学部卒業記念パーティー

日時： 3月25日(水) 16:30～(受付16:00～)

場所： 岡山大学ピーチユニオン4階

会費： 2000円

服装： ドレスコードはありません。

申込は①氏名(メールの件名に記載してください)②3年次所属ゼミを記載の上、下記実行委員アドレスまでメールをしてください。締切：3月15日(日)

okadai.graduation@gmail.com

岡山大学法学部卒業記念パーティー実行委員会

[http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/event/event\\_id13.html](http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/event/event_id13.html)

---

- ・本メルマガは、毎月2回程度配信しています。
- ・法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。  
法学部 HP <http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/index.html>
- ・本メルマガには返信なさらないようにお願いします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下のURLにてお願いします。  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/local/mail/index.html>
- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 [joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp](mailto:joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp) まで。